

# 2024～2025 年度理事・監事のみなさんをご紹介します。

## よろしくお願ひします。

### 理 事

ほんじょう きんじ  
本淨謙士



代表

以前、受け手養成講座でお話しさせていただき、その後理事となり今に至る。2001年から高知で小児科診療に携わる一方、発達相談を通じて困難さを抱えたこどもと保護者の対応を行なっている。当会と並行して、県内の支援者の関係づくりとスキルアップを目的とした団体である、子育て支援ネットワークほっとぽーとこうちの理事として活動している。

(再任：2014～2023 年度理事)

くれ ちよん八  
呉 静恵



副代表

ナイチンゲールの精神に憧れ、看護師に。3人の子育てを体験。2005年から人権教育等の講演活動。2007年から若者サポートステーションで不登校・引きこもり支援。また、家庭教育サポーターとして心の教育センターの電話相談員を務め、2010年たんぼぼ教育研究所で相談活動を行い、夫の両親を介護した体験から在宅で看取る事の大切さを学び、2015年でのひら訪問看護リハビリステーションを設立。

(再任：2010～2023 年度理事)

いけ みき  
池 美季



副代表

看護師。昭和55年より土佐病院、精神科勤務。1990年退職し、育児を主に過ごす。1999年高知市医師会急患センターの平日夜間小児に従事する事となり、小児研修の中で呉理事と出会う。2011の東北震災の日より高知子ども救急ダイヤルに8年従事。チャイルドラインこうち高知開設メンバーで現理事。2020年6月より一般社団法人FHA開設。地域の家庭と医療の間の架け橋となる家庭急病ダイヤルをオープン。

(再任：2010～2023 年度理事)

はんた まさのり  
半田雅典



事務局長

1994年(福)高知県社会福祉協議会に就職し、ボランティア活動の推進、NPOの支援及び福祉人材の確保・育成等に携わる。1998年高知豪雨、2011年東日本大震災など大規模な災害が発生した際には災害ボランティアセンターの立上げ・運営に関わった。現在は事務局次長(兼)人材支援グループ長。

(再任：2014～2023 年度理事)

のむら わか  
野村和可



会計

PTA活動や子どものスポーツ活動に精を出した約18年間。その活動の中で大崎博澄さんと出会う。その一つがチャイルドラインこうち設立準備会。自身の活動や仕事が忙しく、設立後は参加できないまま時が過ぎる。子どもが巣立ち、自身の生活を見つめ直した時、これからの人生に新たな取組をプラスしたい思いが募る。チャイルドラインにも自分のできる範囲で関わりを持ちたいと2018年より広報部会で活動に参加。

(再任：2020～2023 年度理事)

たがみ しょうこ  
田上粧子



(新任)

幼児教育科の教材本だった「登校拒否児の治療教育」に影響を受け、家庭環境や成育歴について学ぶようになる。卒業後は仕事と家事の合間に放送大学等で心理学を学び、子の不登校に悩む方に寄り添う活動をしていたが、聴く力と資格の必要性を感じ、産業カウンセラー・キャリアコンサルタント・アンガーマネジメント等の資格を取得。その時の縁で微力ながら活動に参加させてもらっている。

(新任)

なかじま かおり  
中島香織



(新任)

法テラス高知法律事務所常勤弁護士を経て、あさひの風法律事務所にて執務。虐待、非行、犯罪被害等における子どもの支援を行う。子どもの居場所づくりを行う「こども支援ネットみんなのひろば」代表。学びを通じて子どもや家庭を支えるネットワークをつくる「子育て支援ネットワークほっとぽーと高知」副理事長。子どもの緊急避難場所である「子どもシェルターおるき」理事。

(新任)

ひらやま ゆきえ  
平山幸恵



(再任)

高度成長期に安芸で生まれ、おばあちゃんついで育ち、家庭=祖母は、自分が自分である居場所だった。バブル期20代大阪の幼稚園で大好きな子どもたちから学ぶ日々&自分を生き、バブル崩壊後安芸で妻・母となり、30代子育てを楽しんだ。仕事と子育ての傍ら、40代PTA活動に始まり、学びを求めて西東、人の縁に導かれチャイルドラインへ辿り着き、50代ライフワークとなる。めぎすは子どもたちの心の居場所なり。

(再任：2020～2023 年度理事)

もりおか まさとし  
森岡眞秋



(再任)

高知市役所で商工振興、環境、まちづくり、教育委員会部局等を経験し2022年3月に退職。同年6月から(公財)高知市都市整備公社専務理事。市職在任中から様々なボランティア活動に従事し、1990年からアースデイズ高知、1997年から高知市まちづくり未来塾、2009年からとさこ子タウン等の活動を継続。2022年からNPO法人NPO高知市民会議の理事。

(再任：2022～2023 年度理事)



### 監 事

おかだ かつみ  
岡田一水



(再任)

1996年株式会社高知銀行に入行。2017年度より高知大学特任准教授、2022年度より高知大学客員教授としてキャリア教育に従事。高知県内の小中高等学校や大学などの教育機関と連携し、主に金融教育やコミュニケーション力、思考の多面的展開などのキャリア教育支援も行なっている。また、地域活動の一環として、様々なボランティア活動にも従事するなど、幅広い活動を行なっている。

(再任：2016～2023 年度監事)

のむら  
野村ひとみ



(再任)

2010年3月高知市役所を退職後、貢献をテーマに、ボランティア活動や住民参加によるまちづくり、特に高知出身の奥村多喜衛、ハワイと高知の交流、男女共同参画に熱心に取り組む。特に、高知出身の奥村多喜衛、ハワイと高知の交流、男女共同参画に関する事は熱心に取り組む。2016年から8年間スクールカウンセラーとして活動。現在、被害者支援や不登校の子どもの親などの会に関わっている。

(再任：2016～2023 年度監事)